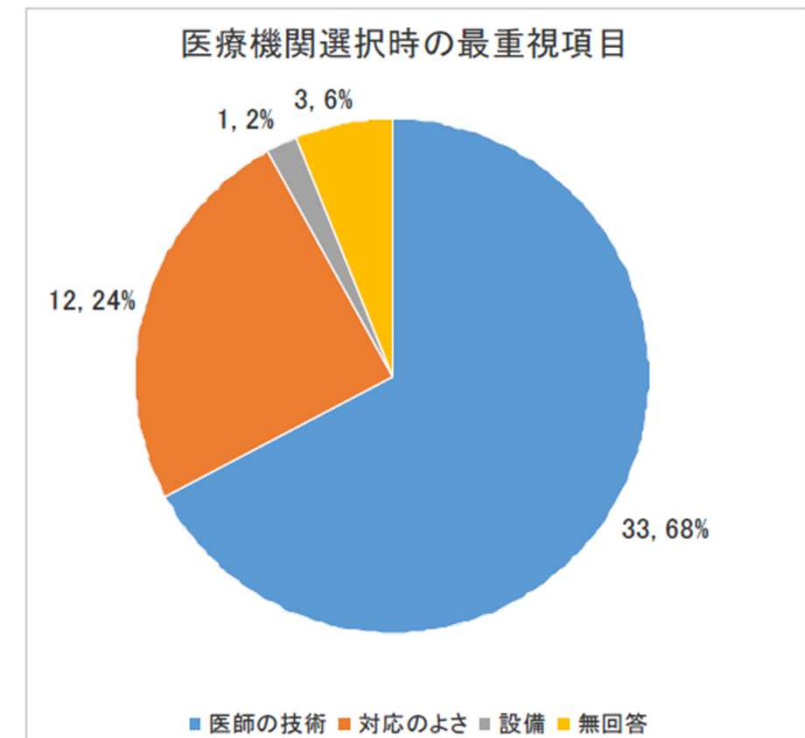


ベトナム 周産期医療サービス 医療機関選択基準(1/2)

図表・30 医療機関選択時の最重視項目

中でも最重要視する項目として、「医師の技術（33）」が圧倒的であり、続いて「医師やスタッフの対応の良さ（12）」となり、回答はほぼこの2点に集約されている。特に「医師やスタッフの対応の良さ」においては、初産（4：16.0%）、経産婦（8：33.3%）と、経産婦が2倍以上の割合で最重要視している。



実際にベトナムでは、医師の学歴や所属などが非常に重視される傾向があり、私立病院では評判の良い医師が存在することが、経営的成功のための絶対条件となっている。実際に個人開業の病院の看板には、国立病院への勤務経験などが記載されていることもある。また、ベトナムでは国立病院勤務の医師が、副業として別の私立病院に勤務するのが普通である。例えばホーチミン市の国立Tu-Du 病院などに所属している医師が私立病院に勤務する場合には、勤務先の私立病院の評判を上げる役割を果たすことになる。実際に外資系の民間病院の多くは、国立病院の医師を副業先として受け入れており、緊急搬送先として本業で勤務する国立病院に搬送してもらうことも日常的光景である。

ベトナム 周産期医療サービス 医療機関選択基準(2/2)

(参考)タイホア病院での出産の決定理由

「技術がある(35)」が圧倒的であり、以下「知人の薦め(11)」「家族の薦め(7)」「家から近い(7)」の順となった。1) - (10)とも若干重複するが、患者は医師の技術を最重要視していることが、ここでも確認出来る形となった。

また、「料金」を選択している患者は存在しなかった。もともと私立病院を選択しているという理由はあるにせよ、この層(中間層～準富裕層)においては少なくとも「安い」というのは大きな動機にはならないことが理解できる。